

にほんごひろば 発表会

第10回 ニホンゴで文章を書こう！

毎年2回開催しています「ニホンゴで文章を書こう！」は、日本語を書くことが苦手な学習者のために発表の場を提供しています。

今回も2名の学習者が入念に準備して発表しましたが、発表者には良い勉強になったと思います。

開催概要

日時 2025年6月9日(月曜)

11:30~12:00

場所 中央図書館4階 多目的ホール

発表者 鄒 芳さん 陶 麗娟さん

対象者 学習者、当部部員

担当 古沢 高畠

参加者 30名



発表会場の様子

ニホンゴで文章を書こう！ 発表者の声

鄒さんの感想

初めて日本語の作文を書いて発表しましたが、初めての作文は大変でした。先生は、煩わしいのを厭わず、間違いを直してくれました。私はとても感動しました。これからも頑張ります。

陶さんの感想

日本語で作文を書いたことはないのですが、宿題をもらったときはびっくりしました。家族と一緒に頑張って、やっと作文を書き上げ、毎日何回も大きな声で音読練習をしました。当日、みんなの前ですごく緊張しましたが、順調に終わりました。本当にうれしかったです。

ありがとう！高畠先生！ ありがとう！みんな！

ニホンゴで文章を書こう！ 発表作文



私の第二の故郷 深圳 そう ぶん 鄒 芳 (中国出身)

深圳は私の第二の故郷です。生まれ故郷の湖南省から深圳に引っ越して18年ぐらい住んでいました。深圳は香港の隣にある都市で、40年前までは漁村でしたが、急速に発展して、今は国際都市になりました。

有名なビルは“深圳平安金融中心”で超高層ビルです。高さ599m、115階建てです。ビルの上の展望台から見る景色はとてもきれいで感激します。遠くに深圳湾が見えます。深圳湾は自然生態と都市の景色が融合しています。海岸沿いには全長13km、広さ12874ヘクタールある14の公園が一緒になった自然豊かな深圳湾公園があります。公園のそばに“春笋”（チュンスン）というタケノコの形をしたビルがあります。海岸の向こうは香港です。

深圳の人口は1756万人、平均年齢は35歳ぐらいです。人口の95%は移住者です。移住者は中国のほかの場所から来た人たちや外国から来た人たちです。私もそのうちの一人です。深圳のスローガンは“来了就是深圳人”で、これは、“深圳に来たら、あなたも深圳の人です”という意味です。

深圳の気温は年平均23℃です。空気がきれいで空が青いです。移住者が多いから、色々な料理があって、みんなおいしいです。その中で有名な料理は広東料理の腸粉（チャンフン）です。腸粉とは米粉と卵とひき肉やエビを使った蒸し料理で、とても体にいいです。深圳は景色がきれいで、人はとても寛容です。私の一番好きな都市・深圳に、みなさん、遊びに来てください。



私の故郷 吉林省 とう れいけん 陶 麗娟 (中国出身)

私の故郷吉林省は中国の東北部にあり、北朝鮮とロシアに隣接しています。人口は約2340万人、土地面積は約187,400km²。一番高い山は長白山で、山頂には大きな「天池」という湖があります。夏は青い宝石みたいにキラキラした湖が、冬には分厚い氷で真っ白になります。山には温泉もあって、ぐつぐつと湯気を立てていて卵を入れるとすぐにゆで卵ができます。

吉林省の夏は暑くて、冬は結構寒いですが、最も寒いときにはマイナス30度以下になることがあります。それでも冬の吉林省は特に美しいです。松花江のほとりの木々には霧氷がびっしりついて、まるで白い綿花が咲いたようで、太陽が当たるときらきら光って魔法みたいです。「チャガン湖」では男たちが氷に穴を開けて魚をとり、とれた魚は子供の腕よりも長いです。

吉林省にはおいしい食べ物がいっぱい！朝鮮風の餅の「打糕」（ダーガオ）は、モチモチで、きな粉をまぶすと甘くて最高です。「キムチ」は真っ赤で、バリバリ食べるとピリッとします。「東北乱炖」（ドンベイルアンドン）は東北地方の家庭料理で、豚肉とジャガイモ、インゲン、カボチャなどを混ぜて40分以上煮込むことで、ホクホクとした食感になっておいしいです。一番おすすめは「凍梨」（ドンリ）というフルーツには東北地方特有の冬の梨の食べ方があります。皮が厚く、果肉が締まりジューシーな中小サイズの新鮮な梨を選ぶのが最適です。凍結と解凍を繰り返して、黒く輝く皮に柔らかい果肉が特徴です。解凍後の食べ方は汁を吸うか、水に浸して食べると、噛んだ瞬間に蜜のような甘さと清涼感を楽しめます。吉林省は私の美しい故郷です。みなさん、ぜひ私の故郷に遊びに来てくださいね！

ニホンゴで文章を書こう！ 発表の様子



発表する郷さん（スクリーン右手前）



発表する陶さん（右奥）



活発な質疑応答



会場風景

担当者の声

今回はパワーポイントを使い食材の写真などを見ることができ、わかりやすかったと思います。発表者のお二人と担当者ボランティアの方に敬意を表します。

にほんごひろば

発表会

第11回

ニホンゴで文章を書こう!

「ニホンゴで文章を書こう!」は、学習者の日本語を書く能力の向上を目的として毎年2回開催しています。今回は劉さんと譚さんに発表をお願いしたところ、快諾を得ました。お二人とも中級レベルの実力があり、良い作品を書き上げてくれました。また、お二人の作文を添削された担当ボランティアの皆さん、添削お疲れさまでした。



開催概要

日時 2025年6月21日(土曜)

11:30~12:00

場所 中央図書館2階 集会室

発表者 劉麗娜さん 譚慧玲さん

対象者 学習者、当部部員

担当 古沢

参加者 21名

ニホンゴで文章を書こう! 提出の生原稿

日本で生活していて感じた、心に残るちよとした優けに
スマホを電車に忘れてほい、^{おれ}とても焦りました。大切な情報
尺のスタッフに連絡ほれ、スタッフの方は落ち着いた様
でほい、30分ほどでスマホが見えり。安心すると
の日、地図アプリが壊れ迷子になれ、困るほいと
れほか」と声をかけてくれ、目的地まで連れて行ほ
もよく覚えてほい。
なほに、日本の「わろな場動」、小さな温かさを

劉さんの生原稿

物で、アジア最大級の広場です。音楽に合わせ
。999年9月19日に開港百年記念して建設さ
^{人の}足跡のレリーフが残されています。また「海上箱
「棒種駕」はリゾートとして有名なところ
連は遊ぶところも多いだけでなく、おいしい
「大連鍋子」と言っ、^{さつまいぢ}薩摩芋の澱粉を原料とし
りとやきます。にんにくのすりおろし、ごま
い。

譚さんの生原稿

ニホンゴで文章を書こう！ 発表作文

日常の中の温かさ 劉 麗娜（中国出身）

今日は、日本で生活していて感じた、心に残るちょっとした優しさについてお話しします。

ある日、スマホを電車で忘れてしまい、とても焦りました。大切な情報が入っていたので、どうしようと、パニックになりました。すぐに駅員さんに連絡したら、駅員さんは落ち着いた様子で「すぐ確認しますね。」とってくれました。半信半疑でしたが、30分ほどでスマホが見つかり、安心すると同時に感謝の気持ちでいっぱいになりました。

また別の日、地図アプリが壊れて、私は迷子になりました。困っているときに、近くにいたおばあさんが、「よかったら一緒に行きましょうか」と声をかけてくれて、目的地まで連れて行ってくれたんです。道中の会話もとても温かくて、今でもよく覚えています。

こんな風に、日本での生活のいろいろな場面で、小さな温かさを感じることができます。

私もいつか、困っている人に手を差し伸べられる人になりたいです。



私のふるさと 大連 譚 慧玲（中国出身）

私は譚（たん）と申します。出身は中国の大連です。大連市は中国の重要な港湾、観光都市です。面積は埼玉県の3分の1ぐらいで、総人口は埼玉県と大体同じ約760万人です。

大連は中国東北部の最南端にあり、三方を海に囲まれています。東は黄海、西は渤海、南は山東半島を、海を隔てて眺めることができます。冬の寒さも夏の暑さありません。

大連には有名な場所がたくさんあります。一つ目は「星海広場」（せいかいひろば）です。大連のシンボリックな建物で、アジア最大級の広場です。音楽に合わせて形を変える大きな噴水、百年城彫とって、1999年9月19日に開港百年記念として建設されました。百歳老人、赤ちゃん、各界の代表人物千人の足跡のレリーフが残されています。また、「海上橋」などの観光地もあり、「棒棰島」（ぼうすいとう）はリゾートとして有名です。

大連は遊ぶところさんだけでなく、おいしいものもたくさんあります。「大連焖子」（ダーリエンメンズ）とって、さつまいもの澱粉を原料として、水を加えて蒸し餅状にして、油でこんがり焼きます。にんにくのすりおろし、ゴマみそ、しょうゆで作ったソースをかけて食べるとおいしいです。また、こんなお菓子もあります。

「糖鼓火焼」（とうこひやき）は市級無形文化遺産に登録されています。今まで100年以上の歴史があります。外は黄色く焦げて、ゴマがついています。中には薄い砂糖が包まれている、カリカリと香ばしいです。

最後に、5月中旬から半月ぐらい、街にはエンジュの花がいっぱい咲きます。白、赤、紫の花が房になり、甘い香りがして、とてもきれいです。エンジュの花からは、まんじゅう、餅など、色々なおいしいものが作れます。こんな素晴らしい大連へ是非遊びに来てください。



ニホンゴで文章を書こう！



発表する劉さん。

劉さんのプロフィール

2019年6月来日。吉林省出身。

現在、日本語能力試験N1合格を目指し勉強中。

感想

作文を書く際、外国人の私にとって、言いたいことを適切な表現で伝えるのが難しく特に助詞や接続詞の使い方に苦労しました。



発表する譚さん

譚さんのプロフィール

2019年9月来日。大連市出身。

現在、日本語能力試験N3合格を目指し勉強中。

感想

最初に中国語で作文を書き、それを日本語に訳しましたが、わからない箇所は辞書で調べました。作文を書くことは勉強になりました。

担当ボランティア深瀬さんのコメント（劉さんの作文を添削）

劉さんの作文はとても上手に書けていて、私がしたことは日本語として不自然な部分を2,3か所訂正しただけです。訂正箇所をうまく説明できず、なぜ不自然な日本語であるかを学習者さんに説明できるようになりたいと思います。

担当ボランティア窪田さんのコメント（譚さんの作文を添削）

ご自分の出身地について書きたいというので一緒に考えました。書く前に、食べ物については、季節に合わせて、お菓子の話などをあれこれとしてくれました。ご自分の出身地のことなので、あれこれ話しながら、楽しく作文を書いてくれました。とても良かったです。

参加者の声

今回お二人の作文を拝聴しました。お一人は日本での心温まるエピソード、お一人は故郷大連のご紹介でした。お二人とも作文内容・話し方共に申し分なく、聞き手側が引き込まれる発表で、私自身も有意義な時間を過ごせました。

担当者の声

最初、中国語で書いた作文を日本語に訳すのが難しいようです。望ましいのは日本語で考えてから日本語の作文を書くことです。「読む、書く、聞く、話す」の中で、作文が一番難しいと思います。